

～ 東京 2020 オリンピック聖火リレー ～

前号に引き続き、東京 2020 オリンピック聖火リレーについてご紹介します。

東京 2020 オリンピック聖火リレーは、「Hope Lights Our Way 希望の道を、つなごう。」をコンセプトに、3月26日に福島県をスタートし、121日間、日本全国47都道府県を巡ります。

聖火ランナーは1名あたり約200m、1区間を原則1名で走ります。既に山梨県実行委員会が選考する聖火ランナーとして、北杜市から山本恭佑さん(6月27日)、矢野育帆さん(6月28日)の2名が発表されています。今後、スポンサー企業が募集した聖火ランナーが発表され、6月27日に実施される北杜市ルート1.6km、8区間を走行する聖火ランナーが決定します。

また、聖火到着の前にはスポンサー企業による先導広報車が走り、沿道の皆さまに応援グッズ等の配布やパフォーマンスが行われ、聖火リレーを盛り上げます。北杜市でも、当日はイベントを開催する予定ですので、ぜひ聖火リレーを体感し、聖火ランナーを応援しましょう！

生涯学習課 TEL 42-1373 FAX 42-1124

減災力の強いまちづくり

シリーズ⑳

持続可能で機能する自主防災組織づくり

～自らの命は自ら守る～

行政区や班を単位として自主防災組織を結成し、みんなで地域を守る力、助け合う力、そして、発災しても被害を最小限にとどめることのできる共助の力を高めましょう。

東日本大震災を教訓に、せっかく組織が結成されてもその組織が持続できない、機能しないなどが、全国の市町村の課題となっています。自主防災組織を作ることによって終わってしまわぬよう、どうすれば「機能する自主防災組織」ができ、その組織が持続可能になるか考えてみましょう。

(1)組織化よりまず

「初動規定の整備」から

組などの小グループで地域の初動規定を作成し、話し合い、まずは初動規定に従った訓練の実施を計画しましょう。

(2)組織や規定が不完全でも、とにかく訓練

訓練を実施すると、必要な役割や規定、必要な資機材が見えてきます。

そこから段階的に組織化を考えていきましょう。

(3)地域のコミュニティの向上

地域の防災・減災についてみんなで考えて訓練を繰り返すことにより、地域コミュニティの向上にもつながります。

まだ間に合う「出前塾」



専門家が指導します

上記の(1)、(2)について、各行政区や班などの総会や公民館活動などにあわせ、地域の減災力について話し合う機会に専門家が外向き、段ボールやペットボトルで作る防災グッズや、親子減災ゲームなどさまざまなメニューから選択して学ぶことができます。

本年度は16件(2月1日現在)の利用があり、3月31日まで利用は可能です。なお、事前申込みが必要になりますので、早めに地域課までご相談ください。

地域課 TEL 42-1323 FAX 42-1122